

第40回デンソーカップチャレンジサッカー 刈谷大会

参加報告レポート 広島県サッカー協会所属 福山大学1年 小澤陸央

◆大会日時

2026年2月25日(水)～3月1日(日)

2月25日(水) グループリーグ1日目

2月26日(木) グループリーグ2日目

2月27日(金) グループリーグ3日目

2月28日(土) 地域貢献活動

3月1日(日) 順位決定戦



◆大会参加スケジュール

2026年2月24日(火)～3月1日(日) 6日間

2月24日(火) 移動日・プラクティカル・研修

2月25日(水) グループリーグ第1節 日本高校選抜 vs 関東選抜B 副審2

2月26日(木) グループリーグ第2節 プレーオフ選抜 vs 関東選抜B 主審

2月27日(金) グループリーグ第3節 プレーオフ選抜 vs 日本高校選抜 4th

2月28日(土) 大会中日 一地域貢献活動一

3月1日(日) 順位決定戦 決勝 関東選抜A vs 関東選抜B 副審2

帰宅

◆会場

- ・グリーンランド刈谷人工芝・天然芝(グループリーグ)
- ・ウェーブスタジアム刈谷(3位決定戦&決勝)



◆参加審判員

北海道(1名) 大町悠馬

東北(1名) 佐野颯亮

北信越(1名) 岩瀧紫生

関東(5名) 糸井太陽、兵頭悠太郎、松下陸大、山本就史
林原晴

東海(1名) 田邊悠

関西(2名) 行澤諒、木下心

中国(4名) 松本隼翔、小澤陸央、近藤琢哉、佐野生昂

九州(1名) 松本侑翔 計16名



◆参加インストラクター・マネージャー

大柿 拓馬氏 赤坂 修氏 青山 健太氏 辛島 宗烈氏 柳岡 拓磨氏

審判マネージャー村上 伸次氏 計6名

◆研修テーマ

大学生の公式戦、各地域の選抜チーム、地域のプライド、レベルが高い

審判員：準備、協力、感謝、目の前の試合を作り上げる。

―大会の成功― キーワード：「さらに良く」

◆研修日程・大会割り当て

2026年2月10日(火) 事前研修 zoom

2026年2月24日(火) 移動・プラクティカル副審の動き(サイドステップ、オフサイドの見極め)
研修(競技規則テスト、確認事項共有)

2026年2月25日(水) グループリーグ第1節 12:30kickoff @グリーンランド刈谷(天然芝)
日本高校選抜 VS 関東選抜B 副審2 INS:辛島宗烈

2026年2月26日(木) グループリーグ第2節 12:30kickoff @グリーンランド刈谷(天然芝)
プレーオフ選抜 VS 関東選抜B 主審 INS:大柿拓馬

2026年2月27日(金) グループリーグ第3節 12:30kickoff @グリーンランド刈谷(天然芝)
プレーオフ選抜 VS 日本高校選抜 4th INS:辛島宗烈

2026年2月8日(土) 大会中日 地域貢献活動
知的障がい者の方々とのサッカー交流

2026年3月1日(日) 順位決定戦 決勝 12:30kickoff @ウェーブスタジアム刈谷
関東選抜A VS 関東選抜B 副審2 INS:柳岡拓磨

◆振り返り

□2/10(火) 前日研修

・JUFA年度末最終研修会と同時の、参加する審判員のみが残りデンソーカップの研修会を行いました。

ここでは、辛島さんからお話をいただき、我々審判員は大会の運営者の一人として参加し、大会の成功を目標に、審判員としても大会を成功させる意味としても「さらに良く」していこうというお話がありました。また、テクニカルな話は、副審としては正しいオフサイドの判定をしましょう。主審として外へ回り込む動きやスプリントに関して映像を共有しながらご指導いただきました。

・2026年2月24日(火)

プラクティカル @グリーンランド刈谷人工芝

① 担当：赤阪氏

アップ、筋力トレーニング

② 担当：辛島氏

・マーカーで口を作り、2人は副審としてラインにつく。

1人は主審で口の中を自由に動きその動きに対して副審の二人は、サイドステップのみで対応する。

③ 担当：辛島氏、赤阪氏

オフサイドの正しい判定。

オフフェンス役、ディフェンス役、ボールの出し手、副審、カメラの役に分かれオフサイドの見極めのトレーニングを行いました。

研修会 @ディースクエア刈谷店 会議室

・競技規則テスト

・明日からの大会について確

・2月25日(水) グループリーグ第1節

○日本高校選抜 VS 関東選抜B 副審2

◎良かった点

・オフサイドラインのキープ

・オフサイドの見極め

・タッチジャッジの判断、フラッグの差しミス

△改善点

・前半40分 主審PK判定→助言しFKへ

副審2の目の前で接触が起きペナルティーエリアの中か外か

きわどい判定。PKのポジションに着いたが主審から「(中か

外か)どっち？」と聞かれました。その時、「接触があれば

外ではないか」と発言。接触が起きた時にはラストタッチを

見に行ってしまったがために接触ポイントが不明だった。自分の中で確信がないのにも関わらず

答えを決め伝えてしまった。見えないやわからないということも大切。副審として並行のライン

はわからないため判断するのは難しい。副審として、自予言することは100%明らかでなければ

リスクでしかない。



○研修会 担当：大柿氏

・各試合担当に分かれ、話し合い3分間試合についてプレゼンテーションを行った。

- ・2月26日(木) グループリーグ第2節
○プレーオフ選抜 vs 関東選抜B 主審

△改善点

- ・マネージメント以前に正しい判定をする
- ・体力やフィジカルの強化
- ・スプリント



- ・2月27日(金) グループリーグ第3節
○プレーオフ選抜 vs 日本高校選抜 4th

◎良かった点

- ・交代のスムーズさ
- ・ベンチコントロール

(試合を通して)

ドロップボールで再開させる場合、笛は必ず必要ではないが全体周知するために吹くか、声を全体へかけることが大事となる。

- ・2月29日(日) 順位決定戦 決勝
○関東選抜A vs 関東選抜B 副審2

◎良かった点

- ・ラインキープ
- ・オフサイドの見極め
- ・タッチジャッジ
- ・主審とのコミュニケーション

(試合を通して)

得点場面。FWとGKの接触でGKはボールをキャッチできていないものの、FWは後ろやや斜めから接触しているため、得点を認めずFKで再開させるべきだった。



◆最後に

この度は、第40回デンソーカップチャレンジサッカー 刈谷大会へ推薦していただき、ありがとうございました。この場をお借りして、中国サッカー協会や広島県サッカー協会、学連関連のすべての関係者の皆様に感謝申し上げます。

今回、デンソーカップへ参加させていただき、各地域の選抜が集まるだけあり個々のレベルとチームの雰囲気が独特な、レベルの高い試合を何試合も担当させていただきこれからの審判活動においても貴重な経験をすることが出来ました。また、今回競技規則テストに関して、不合格となる点数を取ってしまいました。広島県と中国地域の代表として参加させていただいている以上、恥をかくことがないように、これからしっかりと取り組んでいきたいと思っております。今回できた新たな仲間や、以前参加させていただいたIリーグで話せなかった人とも濃い時間を共に過ごすことが出来ました。これから、中国地域や広島県の活動を通して、今後もJUFA主催の全国大会へ審判派遣をさせていただけるように、高い目標を持ちながら今後の審判活動に取り組んでいきたいと思っております。この度は、本当にありがとうございました。